



## 一学期に思う

教育長 白 杵 國 男

第8回佐渡市小学校学習指導研究会が6月23日に、「確かな学力」の向上を目指す指導方法の改善を研究主題として畑野小学校で開催され、市内小・中学校から187名もの先生方が参加されました。

学力低下傾向に危機意識をもった先生方が学力向上のプロジェクトを立ち上げて、授業改善に着手。どう改善するか？・・・そこで「教えて考えさせる授業」を着実に展開すれば学力は向上する。この信念のもとに実践に入り、そのためには「学びの約束と習慣づくり」が必要で、更に「学びを支える生活習慣の必要性」に発展し、この3点がセットになって機能すれば学力の向上が期待できると考えての実践でした。保護者の協力も得ながら家庭と連携を図って取り組んだ成果が授業を通して公開されました。

今回の研究会は、参観者が問題意識をもって授業を参観し、赤・青・黄の付箋に参観してのコメントを記入して研究協議に参加する仕組みでした。授業展開をどう考え、どう分析し、何を感じとっているのか、授業を見る目が要求されました。授業を捉える目があることは指導力があることに結び付くと考えます。グループ単位の研究協議では、意見が真剣に交わされていました。

「指導力があれば学力は向上する」と考えます。各小・中学校の学力実態も出揃いましたが、学力偏差値が50を超えているから全国平均並みと安心してよいのでしょうか。知能偏差値との相関で考える必要があり、知能との相関でどれだけ学力を付け、学力を引き出しているのかを考えるべきだと思います。

今回の研究会は、全職員の危機意識、この一点から全てがスタートしています。

## さらなる学力向上を目指して

指導主事 香 遠 正 浩

各学校におかれましては、学力実態把握と授業改善のために、毎月Web 配信問題を活用していただきありがとうございます。うれしいことに佐渡市全体としては、回を重ねるごとに県平均を上回る学年・教科が増えていきます。第3回目の7月は、国語と英語が全学年で県平均以上でした。重点課題教科の算数・数学についても、小学6年生はすべての設問で県平均正答率を上回りました。

市内の小・中学生の学力は着実に向上しています。各学校が全校体制で授業改善に取り組み、各家庭が学校と連携して家庭学習の習慣化に協力し、そして何より児童・生徒が学習に主体的に取り組んでいる成果と考えます。

Web 配信問題は、主に基礎的・基本的な知識や技能を問うものです。学校によっては、思考力や表現力の育成に力を入れているところもありますが、知識や技能の習得を目指す授業づくりで重視していただきたいことは次の3点です。

### 1 確かな土台づくり

- ・本時にかかわる基礎学力（既習事項）は何か、それらが身に付いているか把握する。
- ・不十分な場合は、いつ、どのようにして補充するかを計画する。

### 2 高めたい力の具体を想定

- ・本時では何ができて、何が分かればねらいに到達したと言えるのか具体的に描く。
- ・そのためにどのような学習活動を行えばよいか構想する。

### 3 1単位時間で習得させる指導

- ・教師が教えるべき内容は躊躇せず教える。
- ・知識や技能が身に付いたかどうかを評価計画に基づいて評価する。

このような日々の授業の積み重ねを通して、分かる・できる喜びを味わわせてください。

## 教育センターの研修講座と 小・中学校の接続

教育指導主事 半田 廣

当センター主催の講座は、7月14日現在で11講座（直接企画運営するもの）が終了しています。この間、多くの教職員から受講していただき感謝申し上げます。

さて、今年は昨年度と大きく変わり中学校教職員の受講が大幅に増えてきています。これまで教科に関わる講座は小学校教職員の受講が多かったのですが、今年度は、国語と音楽実技の講座で中学校教職員の数が小学校を上回りました。また、それ以外の講座でも、中学校教職員の数が確実に増えていきます。これは、外国語活動・英語や算数・数学のように、小・中学校悉皆の講座が増えたせいもありますが、それだけではなく、受講者が学校の枠を超えて教科指導の系統性や指導の継続を重視してきている表れだと思います。

受講後のアンケートにも、「小学校の先生方との意見交換が新鮮だった」、「中学校の先生方とコミュニケーションがとれてよかった」、「中学校での授業の様子を聞くことができ、参考になった」、「小学校の授業の様子を知ることが、中学校での分かりやすい授業づくりにつながると感じた」、「小・中の系統性と指導すべきことが見えてきた」と、互いを知り合うことの重要性が述べられています。

また、演習等を中学校区で行っている点についても、「実際の子供をイメージして、小・中連携の計画ができてよかった」、「中学校区で話し合ったことで、小・中でどう指導していくべきか目安が立った」、「来年度、小・中連携校になるので、今日学んだり、考えたりしたことを生かしたい」と、好意的に受け止められています。

当センターとしては、今後もできるだけ小・中の接続を念頭に置きながら、講座を企画していきたいと考えています。

末尾になりましたが、ご多用の中、快く講師を引き受けてくださった先生方に心から御礼申し上げます。

## 教職員の事故防止と 服務規律の確保について

管理主事 羽二生 裕

子どもたちの「生きる力」をはぐくむ学校教育の根底に不可欠なものは、**教職員に対する児童生徒、保護者、地域住民等からの信頼**です。教職員は勤務時間中はもとより、私生活においても、教育に携わる教育公務員としての自覚をもち、服務規律の厳正な確保と事故防止に万全を期すことが大切です。

73日間の1学期が終わり、これから暑い夏休みを迎えます。子どもたちや教職員にとっても、事故やケガのない楽しく充実した夏休みにしたいものです。佐渡管内教職員の服務規律の確保及び事故防止への意識の向上に校長先生の指導の下、各校一丸となって取り組んでください。

### 交通事故の防止について

この一学期の加害・被害を含めた**教職員の交通事故報告が13件(昨年同期より3件増)**〈4月5件、5月3件、6月4件、7月1件〉ありました。その中でも、4月中には速度超過違反が3件。速度超過違反は、重大な交通事故を引き起こす極めて悪質かつ危険な違法行為です。心と時間にゆとりをもった運転と制限速度の遵守を心掛ける必要があります。

5月・6月には交差点での接触加害・被害事故が3件ありました。常に集中力をもった運転を心掛けると共に、自分勝手な思い込みのない交通規則を遵守した運転をお願いします。交通加害事故の多くは、交差点での一時不停止や脇見運転、前方不注意など、自分から注意していれば防ぐことができる原因で発生しています。これらの事故のほとんどが、朝の出勤時に起きています。夏休みに入りますが、日々、心と時間に余裕をもった運転、車間距離の確保、制限速度の遵守等を教職員の皆様をお願いします。

待ちに待った夏休み。教職員の皆様におかれましては、日頃の疲れを癒し、リフレッシュできる夏休みをお過ごしください。